

第5学年*組 図画工作科学習指導案

指導者 塚越 美奈子

(本時の言語活動を通して付けたい力)	
つくりたい形や色, 使いたい材料等について, 前時に作成した設計図を生かして交流する活動を通して, 作品づくりをしたり発想や構想したりする力	
手 立 て	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に作成した設計図を聞き手に提示しながら説明させることで, 児童が, 自分の考えを明らかにして交流できるようにする。 ・「メモシート」を活用して自分の考えを整理させることで, 児童が, 自信をもって積極的に意見交流できるようにする。

1 題材名 ひみつのメッセージボックス

2 目標

- ひみつのメッセージボックスをつくることに関心をもち, 箱の形と伝えたいメッセージを効果的に組み合わせ, 楽しく表現しようとする。 (造形への関心・意欲・態度)
- 箱の形と伝えたいメッセージからつくりたいメッセージボックスを思いつき, 表現方法を構想することができる。 (発想や構想の能力)
- 箱を開ける仕組みや, 伝えたいことを表現するために, 形や色, 材料などを使い, 表し方を工夫することができる。 (創造的な技能)
- 作品をどこに置くかを考えたり互いに見せ合ったりして, そのよさを味わうことができる。 (鑑賞の能力)

3 題材について

(1) 題材観

本題材は, 伝えたい気持ちがうまく伝わるように, 箱の立体的な構造を生かしたメッセージボックスづくりを楽しむ内容である。伝える相手の「プレゼントの箱を開けるときのドキドキ感やワクワク感」を想像しながら材料や表現方法について工夫を凝らす活動は, 製作への関心を高めることができる題材であると考え。また, 誰にどんなメッセージを伝えたいのか, どんな箱を使ってどんな形や色, 材料で表すかなどを, 発想・構想しながら表現していくことで, 造形活動の基礎的な能力を育むことができると考える。

(2) 児童観

本学級の児童は, 1学期の題材「光のファンタジー」のランプシェードづくりで, 材料や形, 色についての構想を「設計図」に表し, 友達と交流する活動を経験している。この活動を通して, 児童は「設計図」を作成したことで集中して作品づくりに取り組むことができた。本題材の指導にあたり, 実施した調査結果は以下のようである。

【意識調査】 (5年*組 30人 平成27年*月*日実施)

①「光のファンタジー」の設計図は作品づくりに役に立ったか?	
・はい…24人	・いいえ…2人
・どちらとも言えない…4人	
②自分の考えを友達と交流することはどんなことに役立ったか? (複数回答)	
・自分の考えに自信がもてた…25人	・もっとよい考えを思いついた…18人
・友達からのアドバイスが製作に役立った…17人	・その他…9人

この結果から, 立体の作品づくりでは, 材料や形, 色について考えたことを設計図にすることで, 自分の考えを確かなものにするのに有効であることが分かる。また, 自分の考えを友達と交流することは, 新たな考えが生まれたり, 自分の考えに自信がもてたりして, 作品づくりに役立っているということが分かる。

(3) 指導観

本題材では, 「設計図をグループメンバーに提示して意見を交流し, さらに表したいことを思いついたり考えたりする」というねらいの基, メッセージを伝える相手のドキドキ感やワクワク感を考えながら, 材料や形, 色の組合せを考え, それを設計図に表し作品づくりをしていく。第1次では, 「誰にどんなメッセージを伝えたいかを考える」ことを通してイメージを広げ, メッセージボックスへの関心を高めたい。第2次では, 伝える相手が箱を開けたときの気持ちを想像しながら, 箱を開ける仕組みや材料, 形, 色の組合せを工夫して設計図に表すことで, どのように伝えるかを考えさせたい。

本時の授業においては, 設計図を基に自分の考えをグループや全体で交流し合い, 新たな発見や気付きを設計図に加除修正することで, 作品への構想が深まるようにする。また, それらをより確かなものとするために, 自分の考えたことを言葉や身振りで説明する必要がある。そこで「誰にどんなメッセージを伝えたいか」, 「メッセージを効果的に伝えるための材料の組合せや表現の工夫」を考える時間に焦点を当て, 設計図をつくり, それを用いてよりよい作品づくりをする提案をし合う交流を通して, 考えを深める活動を充実させる。このような活動を通して, 本題材がねらう「発想や構想をする力」を高めていきたい。

4 指導計画（8時間取り扱い）

次	時	主な学習活動・内容	評価の観点				評価規準(評価方法)
			関	発	技	鑑	
1	1	<p>メッセージボックスでどんなことを伝えるかを考えよう！</p> <p>学習したこと、興味あること、家族や友達に伝えたいことなどから、つくりたいものを考える。</p>	◎				<ul style="list-style-type: none"> メッセージボックスづくりに関心をもち、材料や形や色、表し方などを考えようとしている。(発言, 観察)
2	1 2	<p>ワクワク・ドキドキする楽しい伝え方の仕組みを考えよう！</p> <p>どんな仕組みで表すと見る人が興味をもったり楽しんだりするか、表現の仕方や材料を考え、設計図に表す。</p>	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> 思いついたことを設計図に表そうとしている。(設計図) 伝える相手が箱を開けたときの気持ちを考えながら、箱を開ける仕組みや形や色、材料の使い方を思いついている。(観察)
3	1 本時	<p>作品の工夫を伝え合い、もっと楽しい仕組みを考えよう！</p> <p>設計図を示しながらグループで意見を交流し、自分の作品に生かす。 グループで交流した意見を全体で共有する。</p>	○	◎			<ul style="list-style-type: none"> 友達の意見を受け止め、さらに表したいことを考えようとしている。(観察, メモシート発言) 交流したことを生かして、つくり方やつくる順番を加除修正している。(設計図, 発言)
4	1 2 3	<p>工夫した設計図を基に、ワクワク・ドキドキするメッセージボックスをつくろう！</p> <p>設計図を基に、箱を開けるときのドキドキ感やワクワク感を考えながら、作品をつくる。</p>	○		◎		<ul style="list-style-type: none"> メッセージを伝える相手の気持ちを想像しながら、つくりだす喜びを味わおうとしている。(作品, 観察) 設計図を基に、表したいことに合わせて材料の使い方などを工夫している。(作品, 観察, 学習計画表)
5	1	<p>自分や友達の作品のよさやおもしろさを伝え合おう！</p> <p>作品を集めて展示し、自分や友達の表し方の工夫、及びよさや美しさを味わう。</p>	○			◎	<ul style="list-style-type: none"> 自他の作品を自分らしい見方や感じ方で味わおうとしている。(観察) 自他の作品それぞれから受ける表し方の違いや、よさや美しさを感じ取っている。(鑑賞カード, 学習計画表)

5 本時の学習

(1) 目標

それぞれの設計図を基にグループで意見を交流し、さらに表したいことを思いついたり考えたりすることができる。

(2) 準備・資料

学習計画表, 設計図, メモシート, 参考作品, 大型テレビ, 実物投影機, ヒントカード

(3) 展開

★研究テーマに係る留意点

過程	形態	学習活動・内容	指導上の留意点と評価
つかむ 5分	一斉	1 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 作品の工夫を伝え合い、もっと楽しい仕組みを考えよう！ </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時までの学習活動を振り返り、学習計画表を見て本時の活動を確認する。
考える 5分	個別	2 発表の準備をする。 ○設計図とメモシートを基に、発表のポイントを確認する。 ・誰に、どんなメッセージを伝えるか ・箱を開ける仕組み ・強調したいポイント（工夫点） ・材料とその使い方	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が発想・構想したことを再確認し、強調したいことに留意して発表できるようにする。 ・自分の考えがよりよく伝わるように、設計図の示し方や話し方を確認して、発表のシミュレーションをするように促す。 ・発表のときに気を付けることや強調することなど、工夫して話すことを確認し、発表メモに印をつけたり書き込んだりする活動を支援する。
交流する 15分	グループ	3 設計図を基にグループで話し合う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> グループ毎に設計図を示しながら作品について発表し合う。【伝え合う】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○司会者・発表順の確認をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・話合いの進め方 ・根拠の明確化 ・工夫点と主題 ・質問と意見 ○設計図を用いて発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・設計図の示し方 ・伝えたいことの明確化 ・聞き手の態度 ○発表内容について意見を交流する。 <ul style="list-style-type: none"> ・質問 ・改善点 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の順番を決めることで、発表者が心の準備をして、話合いがスムーズにできるようにする。 ★友達の前で発表するのが苦手な児童には、事前に書いた「メモシート」と「話の進め方」を活用することで、自信をもって発言できるように助言する。 ・司会者は発表順・時間などを確認し、交流が活発に進められるようにする。 ・発表者は発表メモに書き込んだことに気をつけ、伝えたいことを明確にしながら発表するように助言する。 ・聞き手は、肯定的な話の聞き方と話合いのマナーを意識させるようにする。 ・交流の場でよい発表ができた児童には、よかった点を具体的に称賛し、どのような発表の仕方がよいのか気付けるようにする。 ・机間指導をしながら、迷ったり自信がなかったりする児童に対しては個別に対応する。 ㊦ 友達の意見を基にして、さらに表したいことを考えようとしている。 (観察、メモシート、発言) ㊧ 交流したことを生かして、づくり方やつくる順番を加除修正している。 (設計図、発言)
見直す 10分	個別	4 設計図を見直す。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 交流したことを基に、自分の考えを見直し、修正する。【深める】 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○加除修正したことを青鉛筆で設計図に書き込む。 	<ul style="list-style-type: none"> ★加除修正することを青鉛筆で設計図にかくことで、修正箇所を明確にできるようにする。 ★加除修正する点に迷いがある児童には、個別に対応することで、自分の考えに自信をもてるように支援する。 ・交流したことを全部受け入れるのではなく、表したいことに合っているかに照らし合わせ、思い切ってそぎ落とすことも必要であることも伝えていく。

交流する5分	一斉	<p>5 改善点を発表し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>交流したことを基に、修正した点を共有する。 【伝え合う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを基に加除修正したこと ・友達の意見を取り入れた根拠 ・友達の考えに対する改善点 </div>	<p>★交流したことによって変更する箇所については、その根拠を明確にすることが大切であることを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流によって理由を明らかにして変更した児童のグッドモデルを実物投影機で写し、その内容を共有する。 ・変更箇所がない児童も考えられる。その場合は、自分の作品構想に自信がもてるような言葉かけを行う。
まとめ振り返る5分	一斉	<p>6 本時のまとめをする。</p> <p>(1) 交流した改善点を確かめながら、本時のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>ドキドキ、ワクワクするメッセージボックスにするためには、「〇〇する工夫」が必要だということが分かった 〈「〇〇」予想例〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・色の使い方の工夫 ・伝えたいことを形に表す工夫 ・パーツ部品に合った材料の選択と利用方法の工夫 </div> <p>(2) 本時の反省と自己評価を学習計画表に記入する。</p> <p>(3) 次時の学習について知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>工夫した設計図を基に、ドキドキ・ワクワクするメッセージボックスをつくらう！</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習計画表で本時のねらいに迫れたかを振り返るように促し、よくできたところを称賛する言葉かけをする。 ・まとめに戸惑う児童には、まとめ方ヒントカードを手渡し、「〇〇」部分に友達からの意見を書き入れてみるように支援する。 ・分かりやすくまとめた児童をあらかじめ確認し、その中から数人を指名して発表を促す。 ・本時の自己評価から、次時の自己目標の設定について、無理のない確かなものにするよう助言する。 ・次時の学習内容については、本時の活動を生かして取り組むことを伝え、学習意欲の持続を図る。 ・加除修正に伴って、新たに準備する材料や用具を確認するように話す。

第5学年1組 図画工作科「ひみつのメッセージボックス」板書構成計画

「ひみつのメッセージボックス」

作品の工夫を伝え合い、もっと楽しい仕組みを考えよう！

- 1 発表の準備（5分）
- 2 話し合い（グループ）（15分）
 - ①司会者・発表順の確認
 - ②設計図を用いての発表
 - ③意見の交換（質問、アドバイス）
- 3 見直し・修正（10分）
 - 修正したことを青えんぴつで設計図に書き込もう
- 4 発表（全体）（5分）

5 本時のまとめ

ドキドキ、ワクワクするメッセージボックスにするためには「〇〇する工夫」が必要だということが分かった

※ 数名の振り返りを黒板に貼る